発展につながってくる、そういったような環境をぜひとも作っていきたいということで、今回インドを訪問させていただいたということです。

コロナまでは、浜松市のインド系住民の方は 200 人台ぐらいで推移をしていましたが、昨年で 400 人、それから今年、2024 年で 800 人ぐらいに増える見込みで、倍、倍とインドからの入ってきていただける住民の方が増えて、より一層インドからの人材を呼び寄せたい、それに向かって人材交流を進めていきたいところであります。

我々のミッションの後半は、インド工科大学ハイデラバード校などと協定を結ばせていただくということであります。高度人材、理工系の人材あるいは IT 人材を浜松に、ということで協定を結ばせていただくことに先立ち、今回こちらをお邪魔いたしましたのは、14 億人という世界最大の人口を持つインドの高度人材だけでなく、工場の現場、産業の現場、あるいは観光、介護、医療、運輸、そういったサービス産業の現場を支える人材も足りない。さらに、農業、林業といった一次産業の現場でも人手不足が非常に深刻であり、そういった現場の人材をインドからぜひお招きをしたい思いがあり、その世界の第一人者であります、[redacted]総代表のお話をぜひ伺わせていただきたいということで、今回お邪魔をした次第でございます。インドは、極めて親日の国だと伺っておりますし、語学も長けた方々、習得が非常に早い方々が多いというお話も伺っているところでございます。

ぜひそういったインドの特性なども色々お聞かせをいただきながら、いかにインドから多くの皆さんに来ていただける環境を築いていくにはどうしたらいいのか、その知恵をぜひともいただきたいという風に思っております。ぜひ我々にとって有意義なお話をいただけたらという風に思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【[redacted] 全日本空輸株式会社インド総代表兼デリー支店長　要旨】

・[redacted]氏がインド人材に着目したきっかけは、コロナで新しい需要を開拓していかないとこの先は厳しいと考えていた矢先に、ベトナム人技能実習生のネガティブな報道を見て、インドはどうなっているのかを調べ始めたのがきっかけ。

・できるだけ日本にインド人材のクオリティの高さ、良さを知っていただきたいと思い、インド各地のセミナーに行って日本を知ってもらう取組や、送り出し機関や管理団体と協力しながらマッチングイベントを行なっている。その他、日印協会の月刊インドに寄稿したり、Pivot 等の Youtube への出演、ANA 社の公式 Youtube チャンネル、インド国内、日本全国で日本とインドの魅力を講演も行っている。

<u>インドの特徴</u>

・インドは、コルカタ、ニューデリー、ムンバイ、ベンガルール、チェンナイ、アーメダバード、ハイデラバード、この 8 都市が Tier1 という 400 万人以上の都市。8 大都市を合わせても人口 1 億人もいかない。インド人は圧倒的に農村部にいる。しかも 20 代の若者が、仕事がなくて困っている状況。

・インド人は基本的に悪いことをしない。凶悪犯罪はなく、鞄をその辺に置いておいても誰も盗んだりしない。性格は、温厚、誠実、そして明るい。語学習得が極めて早い特徴もある。
・インドの親も、子どもを外国に出稼ぎ労働に出すということに対して当然不安があるが、日本は安全で親切な国だという理解が進んでいる。

インドの送り出し機関の現状

・インドから日本へアクティブな送り出し機関が少ない。日本よりも他国へ送り出した方が楽で、コミッションも高い。日本だと日本語を教えなきゃいけない、コミッションも安い。最初日本もやってみようかと思って手をつけてもやらなくなるところも多い。
・ベトナムとかネパールでは、借金漬けにさせられるとか暗躍するブローカーがいると言われているが、インドでは今のところブローカーが存在してない。非常にクリーンな送り出しができている。
・インドの送り出し機関をコロナ当時に調べてみたら33社あり、どの送り出し機関がどういうことやっていて、どういう業種に強いか、どこの国がやっているかなどを徹底的に調べた。現在の送り出し機関数は24社。インド政府も肝いりの事業。
・NAVIS いうバンガロールの送り出し機関は、看護師の資格を持っているインド人を日本で介護士として送っている。しかし、日本で3年ぐらい働いたら、インドに帰国させ、次はヨーロッパに送ったりしている。日本でがっつりやってもらえないということで敬遠される事業者もいる。現地のトヨタの従業員の教育も担っており、日本語の先生をちゃんと置いて教育はものすごくしっかりやっている。給料が安く、日本語の先生はなかなかインドに来てくれないが、NAVIS は確保できている。
・LOHIA はインドのカンプールにある。機械、金属、溶接、建設等の職種が多い。土嚢のプラスチックバックを作っており、世界のマーケットシェア6割～7割のシェアも持っている。また、組み立てラインを組み立てラインごと世界中に輸出している。そこに従業員も含めて送り込んでいる。日本人もいるので、比較的安心して頼める。
・ジャイプールにある Bhushan ITI という職業訓練校はスズキとも提携している。また、ヤマハの教室もあり、バイクの仕組みを教えている。良い学生がいたらヤマハへの就職の斡旋もしている。
・インドの北東州は、外資がほぼ入っておらず、日系企業もほとんどいない。メガバンクや総合商社も誰もいない。ネパールのカトマンズと風景が一緒で、外国に労働、出稼ぎ労働に行く人が多い。他方、外国への行き方がわからない、日本はアニメが好きだから興味はあるがどうやって行ったらいいかわからないという人たちが埋もれている。仕事がないから大学へ行く、大学を出ても仕事がないから大学院まで行く、大学院を出ても仕事がないという優秀な若者がいっぱい余っている。
・北東州は、ビジュアルが日本人に近く、モンゴロイド系。食事習慣も近い。日本人的にも感性が近いので受け入れやすい。

・ダージリン地域はネパール国境が近く、ネパール語やヒンディー語を話すなど語学リテラシーが高く、この辺の人材も結構好んで採用され始めている。
・NSDC international は、49%政府出資、51%民間出資の会社。送り出し機関の認証会社だったが、日本行きの送り出し機関が頼りないため、NSDC が学校を作って送り出しを始めた。資金的余裕があるため、教育費や食費等、半年～9ヶ月にかかる教育費を7万ルピー以外は全部出している。NSDC は最もコストパフォーマンスがいい。
・NSDC は、2024年8月に日本の介護業界トップの損保ホールディングスと契約を結んだ。大手であれば、20名のクラスを今年は何クラス作ってほしい、来年は何クラス作ってほしい、とこういう話ができる。NSDC はそうやってある程度規模があると喜んで契約してくれる。
・福井県のさくら荘という介護施設は、経営危機のところで一気に15人のインド介護人材を特定技能で採用したら数ヶ月後に経営が軌道に乗った。福井県の勝山市という田舎に立地しているがインド人の退職者はいない。理事長が彼女たちの福利厚生面や祝日の過ごし方等、色々考え、楽しみながら仕事をしてもらっている。
・高知県もインド人材を積極的に受け入れており、農業分野でも喜んで来日するインド人材は多い。しかし、大学院まで出て農業というと物足りない感があって辞めたインド人もいる。
・日本旅館協会は、業界全体でインド人を受け入れ始め、インド人材はレベルが高いと評判。そういう取組もあり、2024年3月からインドで特定技能試験が始まった。
・ジェンライズという送り出し機関は、北東州の1つのアルナチャルプラデッシュ州政府と組んでアルナチュラプダッシュの看護学校の人に無償で日本語を教えて日本に送るということを始めた。
・トヨタはキルロスカと組んで送り出し機関をやっている。実績として、技能実習と特定技能で1,600名。スズキも送り出し機関を作ることに期待したい。

<u>インド人材の受け入れについて</u>
・横浜市緑区霧が丘の団地にインド人が800人住んでいる。横浜市がインドの企業を誘致したためだが、日本人とうまく共生している。公園ではインド人と日本人の男の子が一緒にサッカーで遊び、当然英語でコミュニケーション取っている。国際的な子どもたちを育成していくという観点でも、こういった共生は素晴らしい。
・インド人材が日本に来る上で、受け入れ側として注意点は特にない。ベジタリアンは野菜しか食べないが、日本では野菜が売っているし、問題ない。
・受け入れる側の行政としての役割は、ゴミの分別とか、同じ地域の住民の方との軋轢が出ないような緩衝材。
・インド人は家族を非常に大切にしている人たちで、単身で長期に働きにいくことに抵抗がある。家族を連れてくると病院の対応、子どもの学校など環境整備が重要。病院における症状の説明、運転免許の取得、車のリース提供、インターナショナルスクールなど、インドの

人たちが今後の将来の自分たちの家族のことも考えながら 浜松に来て、子供の病気も含めて、家族の生活も含めて、入りやすい環境を作ると、他の都市に行っているところよりもやっぱ浜松がいいということに繋がるだろう。

その他

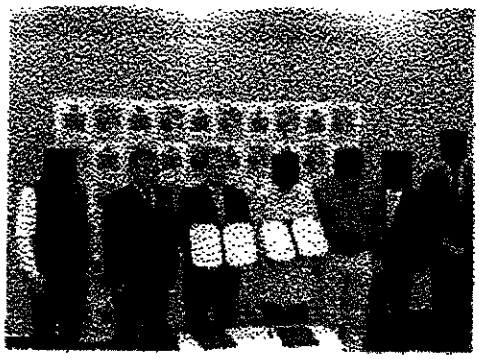
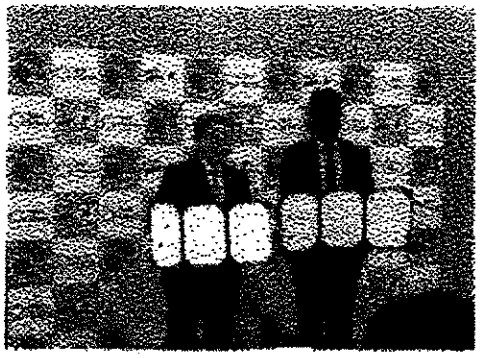
・在インド日本国際大使館の厚労アタッシェがNSDCの窓口をやっているが日本語の何らかの意向をNSDCに提言しているという感じではない。
・インドはとにかく仕事がない。円安だとか給料他の国の方がいいのではないかとか色々言われるが、インド人はとにかくインドにいても仕事がなくて給料がもらえないから、外国へ行ったら給料がもらえるのは魅力。

【所感】

本市は長年に渡って多文化共生を進めてきたこともあり、多様な背景を持つ人々がお互いの文化を尊重し合い、共に暮らし、働き、地域社会に貢献できる環境が整っている街だ。地域の人手不足、様々な業界の人手不足が課題の本市にとって、インドの方々が私たちの地域社会に新たな視点と活力をもたらす貴重な存在になることを期待したい。今回のお話の中で、インド人の温厚な人柄や語学習得の速さなど、インド人材の魅力を新たに知る機会となったと同時に、インド人材を受け入れる本市のハードルはそこまで高くないと感じることができた。本市市民にとってもインド人材は受け入れやすいのではなかろうか。

今回得られた知見を浜松の多文化共生施策に反映させ、インド人材が家族帯同で本市へ定住し、より活力ある本市地域社会の実現に向けて、努力していきたい。

日時：2024 年 12 月 26 日（木）9：00～14：00
訪問先：インド工科大学ハイデラバード校
目的：インド工科大学ハイデラバード校及び Next Bharat Ventures と覚書を交わし、本市との今後の連携について模索する。

【IIT ハイデラバード校　要旨】
・IIT は全国 23 校存在。IIT ハイデラバード校は、全 IIT23 校ある中で 8 番手です。IIT ハイデラバードを含めた 8 校が 2008 年以降に設立され、2016 年以降にさらに 7 校が追加された。各州に 1 校 IIT があるが、新しい IIT は、伝統校に比べてインフラの工事や教員の採用もまだこれから。ハイデラバード校は、伝統校の 7 番目とランキングが一瞬だけ逆転したことがある。
・ランキングは入ってくる学生の質に直結する。したがって、良い研究をしたかったら良い学生を取らなきゃいけない。良い学生を取るためには、常に大学のランキングが 1 番高くなければならない。これが IIT のシステム。
・ランキングにはいくつか分野があるが、イノベーション分野に関してはハイデラバード校の方が伝統校よりも上で、インド全体で 3 番目。大学全体の規模であるとか、キャパシティではまだ太刀打ちできないけれども、勝てるところは勝っていくというのがハイデラバード校の方針。
・ハイデラバード校の学長は筑波で研究者をしていた経歴がある。日本との連携には非常に前向きに取り組んでいる。
・教員の数は、約 320 名、学生数は 5000 人以上。
・様々な学科があるが、コンピューターサイエンス、シビルエンジニアリング、電気工学、この 3 つが、IIT ができた時に大体作られる学科。そういうところを中心にどんどん学科を太らせていって、新しい学科をどんどん設立し、現在は約 18 の学科がある。これにプラスして大学院プログラム等が柔軟に作られるシステムがある。
・大学の世界ランキングは、600 番台後半のところで、これを上げていきたい。
・大学として取り組んでいる重要な研究分野は AI。IIT ハイデラバードは世界で 3 番目に

人工知能の専門の学科を作った。AI を発展させると、スマートモビリティやロボティックスなど、他の分野の研究者と一緒になって先端的にするかというようなことができる。そういう背景もあり、AI の分野で権威と呼ばれるような先生方がたくさん在籍している。

・伝統的なプログラムに加え、気候変動や文化遺産の研究、IT 系の廃棄物など、社会課題に直接アプローチをするような大学、学科、大学院、または学科のプログラムも存在している。また、企業にファンディングしてもらっている。
・世界中である研究分野で最前線を走っている権威と呼ばれる皆さんに声を掛けて教授になっていただいている。日本からは、慶応義塾大学の[redacted]教授と京都大学の[redacted]教授の２人が卓越教授になっている。
・伝統的な学科だけじゃなくて、さらなる教員科、博士課程、学生インターンのコラボレーションなどをやろうとして、その案件が採択されると学内で研究資金が支給され、具体的なインセンティブが紐づくシステム。
・IIT ハイデラバード校の中で、特に起業文化をどう醸成するかということにかなり力を割いている。IIT は大学に入って、良い職種に就くこと。先生になりたい人が IIT に来るは殆どない。

・基本的にジョブマーケット。採用のマーケットにおいてシートを取っていく方法で、企業はそれぞれの大学から何人取りますというのを決めて応募する。その決められた数のシートを、奪い合って取ってくっていうのが基本的な学生のスタンスになるが、IIT ハイデラバード校が学生に強く言っているのは、そのシートを競い合って取り合うのではなく、シートを新たに生み出して、他の学生がたくさん就職できるように社長になりなさいと強く言っている。
・リードプロジェクトというものがある。大学が学生にこれをやったら面白い、なんかビジネスになりそうだから技術アイデアを持ってきなさいと。それが本当に確からしいと確認されたら開発のためのバジェットを 10 万ルピー程度出す。それをスタートアップにする場合はインティベーションセンターに入って実際に起業を進める。うまくいく場合は、別に大学で学位取るまで頑張らなくていいので卒業証書（Graduation certificate）じゃなくて修了証（diploma）は出してあげるから大学を辞めてさっさと実業に行っていいと言っている。自分で会社を作って忙しい方に大学で勉強する意味なんかないので、大学としてはよくやったって言って diploma の証明書を出して、じゃあもうビジネス頑張って将来儲かったら寄付してね、と言って出そうとしている。大学ではあるが、大学っぽくないこともやっている。もし会社を作って失敗してもその年の新卒の採用の就活に混ざっていいというセーフティネットは作ってある。うまくいかなかったとしても IIT ハイダラバード校のブランドがあるので、学生時代に会社作って潰しちゃいましたと言ったら逆に企業は採用したがる。そのように学生が守られながらも挑戦できるようなエコシステムを作っているというのが、

IIT ハイデラバード校の特徴としてかなり力を入れているところ。
・ハイデラバード校は JAPAN desk もあり、建物の多くは日本政府の ODA を活用して建てられ、図書館、インキュベーションセンターと大事な建物は日本の円借款で造られている。日本の企業や大学にどんどん活用してもらいたい。図書館は東大の[redacted]先生の設計。
・IIT ハイデラバード校の卒業生が日本で働いているケースはたくさんある。楽天、NTTAT アドバンステクノロジー、メルカリ、Yahoo、スタートアップの企業など。
・毎年、JAPAN DAY という日本の企業を集めた日本の企業への採用促進イベント、就職促進イベントとをハイデラバード校で行っている。大講堂で実施するが立ち見が出るくらい、日本の企業に関心のある学生が多い。

・Next Bharat の社長もここの卒業生で、スズキに就職して 5 年で社長というと学生にとっても夢がある。浜松市は自動車産業だけの街ではない。より多くの産業分野で、どうやってインド人材を上手に使いこなすのか、そのノウハウを水平展開したい。
・ハイデラバード校では日本語を勉強しなさいということは言っていない。なぜならば、言語障壁が言語障壁でなくなる日がすぐ来るから。別に英語喋れないから雇えないとか、日本語が喋れないから雇えないということはなくなってくるだろう。日本語を強制されるより、日本語が楽しいと思って自発的に勉強する方がよい。
・日本は優しくて行ける国、アメリカは憧れの国だけど行きにくい国。
・IIT ハイデラバード校は、1 名の日本語の教員がセメスターに大体 2~3 週間滞在し、短期集中で講座をしている。通年（それぞれの学期）で日本語教育ができるように確保もしている。

【MOU 締結式】
<u>中野祐介　浜松市長　挨拶</u>
インド工科大学ハイデラバード校[redacted]学長をはじめ多くの教職員の皆様、そしてご参加をいただいた皆様には、このような記念すべき覚書締結式にお集まりをいただきましたことを心から感謝を申し上げます。学長には、去年、今年と日本にお越しをいただきました。 改めて深く感謝を申し上げる次第。その際の有意義な対話が今日のご締結への大きな一歩となったと思っております。
本日の覚書締結は、浜松市とインド工科大学ハイデラバート校との間で新たな協力関係の扉を開くものでございます。特に、人材交流を中心とする協力関係の構築、これは両者にとって大きな可能性を秘めているものだと感じております。
このような素晴らしい協定の締結にあたりましては、[redacted]教授の大変なお力添えをいただいたところでございます。[redacted]教授の橋渡しがなければ、本日、私もこの場に立つことはなかったと思っており、心から感謝を申し上げます。
IIT ハイデラバード校は、世界的にも高い評価を受ける教育機関、教育機関であることは

もう今更申し上げるまでもないわけでありますけれども、特に工学あるいは技術の分野において卓越した人材を多数輩出されているわけでございます。

一方、浜松市は、チャレンジスピリットやらまいか精神で知られる産業都市でありまして、多くのイノベーティブな企業が集積をしております。

今回締結する協力関係を通じて、浜松市内企業とインド工科大学ハイデラバード校の卒業生とのマッチングや学生の皆さん、研究者の皆さんの相互交流による知識と経験の共有などを大いに期待をしているところでございます。浜松市は、今回のこの協力関係を通じて、グローバルな視点を持つ人材の育成とその受け入れに全力を尽くしてまいります。同時に、インド工科大学ハイデラバード校の皆様にも日本の文化や技術に触れる機会を提供できることを大変嬉しく思っております。

結びに、本日の覚書締結を新たな出発点といたしまして、両者の関係がさらに深まり、実り大きなものになることを心から願う次第でございます。

ハイデラバード校と静岡大学の学生交流は既に始めております。また、来年[redacted]先生に浜松へお越しをいただき、浜松の高校生向けに講演をしていただく予定でおります。次の時代のこの両地域を引っ張っていく若者同士の交流、これをぜひとも盛んにさせていきたいと思っております。スズキイノベーションセンターなどを通じて、産業、経済の発展にも、この両都市間の連携が貢献できるように進めていきたいと思っています。

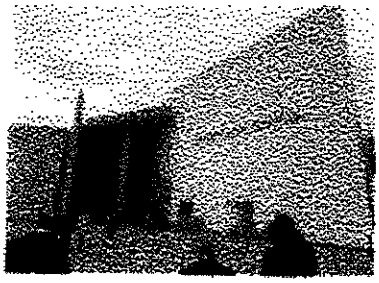
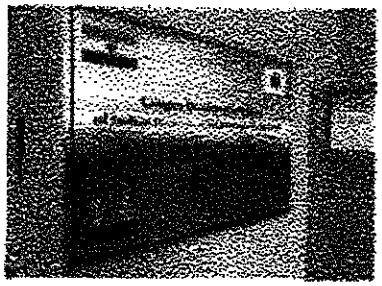
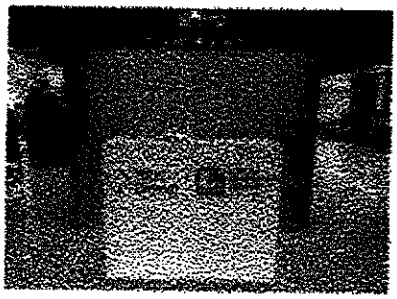
[redacted]学長　挨拶

スズキは浜松に本社を構えており、ハイデラバード校の卒業生40人がスズキに就職している。1社だけでこれだけ多くのIITの学生が働いているのは非常に稀。他の日本の企業にも我々の卒業生が働けるようになればと思っています。色んな企業との連携を通して両国の将来のためになるような新しい技術開発をしていきたい。また、浜松や静岡の企業とハイデラバード校の博士課程の研究生との共同研究及びスタートアップ企業間の連携を期待している。

アメリカにみんな行きたがるが、文化的に学ぶことは多くない。それに対して、日本は文化的に非常に強い側面があってインドと似ているところもある。そういった文化面で学べることが大きいと思っている。

私は、1999年から2001年まで2年間日本に行って日本が大好きになった。インドに帰国してから、どうやったら私たちが日本とインドの架け橋になれるか、そういうことを常に考えている。

インドの学生が日本から学べることは、規律正しさや謙遜さなど、お金よりもそういう側面が大事。お金にもなるけど、同時にその文化面など色々な側面も学べることから、それがIITハイデラバード校にとって大きなメリットをもたらすと思っている。

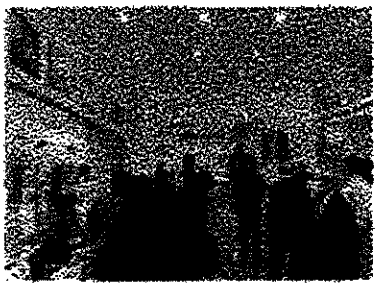
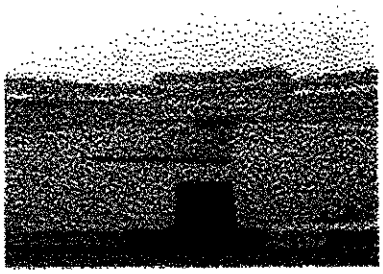
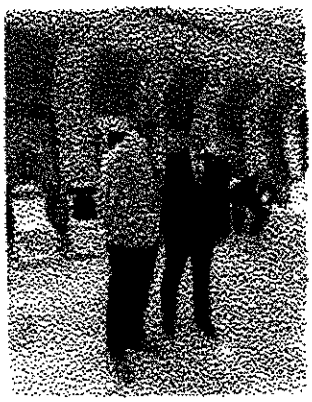





【所感】

インド工科大学はインド最高峰の大学であり、本市としてこのインド工科大学のハイデラバード校と提携できる意義は大きい。他方で、高度人材を求める都市は日本全国だけでなく、世界各国が獲得競争を行っているのも事実である。本市とインド工科大学ハイデラバード校が覚書を締結したが、ここからどれだけ本市の若者や企業と交流し、どれだけのインド人材が本市を選んでくれるかは重要なポイントである。そのためには、本市としての魅力をインドの方々に知っていただく必要があると同時に、本市企業の魅力も知っていただく必要がある。中国の企業や自治体は年に何度も訪れて関係構築をしていくのが常だというが、本市も決して年に1回だけの交流にとどまらず、今回の覚書を有効に利用し、実りある果実を本市にもたらすよう努力を重ねることが重要であると感じた。日本の ODA を活用し、JICA の支援によって建てられたことのハイデラバード校を、他国ではなく、日本の都市や日本企業がうまく活用していってもらいたい。日印の企業がイノベーションを創出したり、日本のプレゼンスが高まるような本市の取組みに期待するとともに、私もハイデラバード校を定期的に訪れ、本市に資する建設的な議論をしていきたい。

日時：2024 年 12 月 26 日（木）16：30～17：30
訪問先：Rajiv Gandhi International Cricket Stadium（ラジブ・ガンディー国際クリケットスタジアム）
目的：インドにおいて国民的スポーツとなっているクリケットスタジアムを視察し、スポーツ振興の面での連携の可能性を探るとともにクリケットに対する知見を深め、今後の施策に活かす。

【概要】
・当スタジアムは、インドのテランガナ州ハイデラバードにある国際クリケットスタジアム。一般的にはウッパルスタジアムとして親しまれている。
・ハイデラバードクリケット協会が所有し、運営している。
・ハイデラバードクリケットチーム（サンライザーズハイデラバード）とハイデラバード女子クリケットチームのホームグラウンドとなっている。
・東部地域のウパルに位置し、敷地面積 15 エーカーの中に 55,000 人の収容人数を誇る。
・2004 年にビサカ国際クリケットスタジアムと命名されたが、インドのラジブ・ガンディー元首相を記念し、スタジアム名をラジブ・ガンディー国際クリケットスタジアムに変更した。
・IPL2019 と IPL2024 にハイデラバードクリケット協会がベストグラウンドとピッチ賞を受賞した。

【所感】
クリケットと言っても日本人には馴染みがないだろう。かくいう私もその一人であり、クリケット場を見たことも今回が初めてであった。旧イギリス領であった国々にとっては、クリケットは人気なスポーツでインドでも大人気のスポーツだ。国際大会を開催することはあっても、日本で大会を開催することは実現の可能性は高くないだろうが、インドの文化や伝統を知るうえで、今回ラジブ・ガンディー国際クリケットスタジアムを視察させていただいたことは有意義だった。今後のインドとの関係性に活かしていきたい。

（様式6）　　A020/

# 旅　費　支　払　証　明　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和 7 年 2 月 4 日 (火)　1日間 |
| 出張先（目的） | 東京都港区赤坂1-12-33　ANAインターコンチネンタルホテル東京 B1階<br>『浜松やらまいか交流会2024』参加・事業調査・意見交換 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 出張者氏名 | 柳川樹一郎 | 太田　康隆 | 渥美　誠 | 花井　和夫 |
| | 髙林　修 | 戸田　誠 | 倉田　清一 | 加茂　俊武 |
| | 松本　康夫 | 平野　岳子 | 齋藤　和志 | 井田　博康 |
| | 露木里江子 | 小野田康弘 | 神間　郁子 | 中野　和幸 |
| | 辻村　公子 | 藤田　典良 | 鈴木　裕之 | (計 19名) |

## 旅　費　額　内　訳

| 項　目 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|
| 交通費 | 298,610 円 | 新幹線往復乗車券　浜松駅⇔東京駅　@15,820円×18名分=284,760円<br>1名分のみ公務終了後合流の為　静岡一東京一浜松　新幹線代 13,850円 |
| 〃 | 6,840 円 | 地下鉄代　①新橋 ― 溜池山王　@180円×19名 = 3,420円<br>②溜池山王 ― 東京駅 @180円×19名 = 3,420円 |
| 日　当 | 27,000 円 | @1,500円 × 1日 × 18名分 |
| | | |
| 合　計 | 332,450 円 | |

| 金　額 | | 百 | 拾 | 万 | 千 | 百 | 拾 | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ¥ | 3 | 3 | 2 | 4 | 5 | 0 |

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 7 年　2 月　7 日

代 表 者　会 長　倉田 清一 [redacted]

〈詳細〉

日程

新幹線　JR　地下鉄　徒歩　徒歩　地下鉄　新幹線
浜松駅 ＝＝ 東京駅 ／ 新橋駅 ･･･ 溜池山王駅 - - 会場 ― 溜池山王駅 ･･･ 東京駅 ＝＝ 浜松駅

※新幹線チケット代 ／ 1/31 遠州鉄道（株）支払
※日当代（18名分のみ支給。公務後合流した1名分は重複の為無支給。）

B No. 624178

# 領　収　証

2025 年 1 月 31 日

浜松市議会 自由民主党浜松 様

| 金　額 | 百万 | 十万 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ¥ | 2 | 9 | 8 | 6 | 1 | 0 |

但し 2/4 JR代金として　15820×18人
13850×1人

現金 ／ 振込 ／ カード ／ 相殺 ／ その他

200円

上記の金額正に領収致しました。

内訳

| | 税込金額 | 消費税額 |
|---|---|---|
| 10％ | 298,610 円 | ( 27,146 円) |
| 8％ | 円 | ( 円) |
| 非課税<br>不課税 | 円 | |

遠州鉄道株式会社
〒430-8655 浜松市中区旭町12番地の1
登録番号 T5080401000702

発行者印

※社印、発行者印のないものまたは金額を訂正したものは無効です。

（様式8）

令和 7 年 1 月14日

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会 長　倉田　清一　様

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
氏　名　視察幹事　平野　岳子 [redacted] ㊞

# 出 張 届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1　出張者　　倉田 清一 議員、松本 康夫 議員、平野 岳子 議員、井田 博康 議員、柳川樹一郎 議員、太田 康隆 議員、澤美　誠 議員、花井 和夫 議員、戸田　誠 議員、高林　修 議員、加茂 俊武 議員、齋藤 和志 議員、露木里江子 議員、小野田康弘 議員、神間 郁子 議員、中野 和幸 議員、辻村 公子 議員、藤田 典良 議員、 鈴木 裕之 議員

（以上 19 名）

2　期間及び出張先

令和 7 年 2 月 4 日（火）1日間

東京都港区赤坂 1-12-33　ANA インターコンチネンタルホテル東京

3　目的

浜松やらまいか交流会 2024　参加

---

## 視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　鳥井　徳孝　様

会 派 名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者氏名　会長 倉田　清一　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

# 自由民主党浜松 やらまいか交流会 日程表 （案）

（1月29日現在）

◆出張日程　令和7年2月4日（火）

◆視 察 先　やらまいか交流会　港区赤坂1-12-33　ANAインターコンチネンタルホテル東京
問い合せ先　浜松市東京事務所　☎03-3556-2691 担当：村木・石塚職員

◆参加議員　柳川樹一郎 議員、太田 康隆 議員、渥美 誠 議員、花井 和夫 議員、
高林 修 議員、戸田 誠 議員、倉田 清一 議員、加茂 俊武 議員、
松本 康夫 議員、平野 岳子 議員、齋藤 和志 議員、井田 博康 議員、
露木里江子 議員、小野田康弘 議員、神間 郁子 議員、中野 和幸 議員、
辻村 公子 議員、藤田 典良 議員、鈴木 裕之 議員

（総計19名）

2月4日（火）

※10：00～大型公共施設建設特別委員会

※副議長 14:00～16:30 静岡県庁にて公務　終了後 静岡発 15:57→17:18 東京着

（昼食）（各自）

新幹線

| | 浜松発 | | 東京着 |
|---|---|---|---|
| ひかり506号 | 13：17 | | 14：42 |
| こだま722号 | 13：25 | | 15：18 |
| こだま724号 | 13：58 | | 15：48 |
| ひかり508号 | 14：17 | | 15：42 |
| こだま726号 | 14：25 | | 16：18 |
| こだま728号 | 14：55 | | 16：48 |
| ひかり510号 | 15：17 | | 16：42 |
| こだま730号 | 15：25 | | 17：18 |

JR山手線（品川方面行）　東京メトロ銀座線（渋谷行）
東京 ＝＝＝ 新橋 ＝＝＝ 溜池山王

※（徒歩1分）会場へ

【会場】
ANA インターコンチネンタル ホテル東京
東京都港区赤坂 1-12-33
TEL：03-3505-1111

正副議長合流

《浜松やらまいか交流会》（議長＋19名）
※受付 17:30

第1部 市政報告会 18:00～18:25

第2部 懇親会 18:30～20:10
（市長挨拶、新やらまいか大使紹介等）

於：ANA インターコンチネンタルホテル東京
地下1階『プロミネンス』

新幹線

| | 東京 | | 浜松 |
|---|---|---|---|
| こだま757号 | 20：27 | | 22：18 |
| ひかり665号 | 21：06 | | 22：26 |
| こだま811号 | 21：45 | | 23：25 |
| ひかり669号 | 22：03 | | 23：17 |

（様式11）

A0201

令和 7 年2月 7 日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和 7 年 2 月 4 日（火） 1日間 |
| 出 張 先 | 東京都港区赤坂1-12-33<br>ANAインターコンチネンタルホテル東京　地下1階 |
| 出張の理由 | 浜松やらまいか交流会2024　参加<br>事業調査　・　意見交換会 |
| 出 張 者<br>氏 名 | 柳川樹一郎　太田　康隆　濵美　誠　花井　和夫<br>高林　修　戸田　誠　倉田　清一　加茂　俊武<br>松本　康夫　平野　岳子　齋藤　和志　井田　博康<br>露木里江子　小野田康弘　神間　郁子　中野　和幸<br>辻村　公子　藤田　典良　鈴木　裕之<br>（以上19名） |

（出張の顛末）

別紙　報告書の通り

（備考）

浜松やらまいか交流会に参加して

今年度のやらまいか交流会は、参加者も例年になく多いように感じました。名刺交換も行いましたが、多くは、各省庁から浜松の役職を経た方々と、主に話をさせて頂きました。皆さんからは、また浜松で仕事をしたいと言っていました。小野田議員からの紹介で、可美中の剣道部で北高から自治医大へ行き現在はスタンフォード大学にいる方を紹介していただきました。小野田議員の一つ先輩で[redacted]部長の同級生だそうです凄い人がいるなとびっくりしました。参加者は、各省庁や企業関係者（全国的に活躍している企業）それに浜松サポーターズクラブ会員の方など総勢３００名の余の参加で行われ懐かしい人にも再会できました。それぞれの分野で活躍されており、浜松の為ならと言う思いは強く、どんな事でも言ってくださいと言っていました。この様な催しをしていることにより、やらまいか大使だけでなく、より多くの参加さる方が浜松に思いを寄せてくれることが何よりです。浜松市の宣伝効果を狙う事においては欠く事のできないイベントと思います。ぜひ来年も開催されることを願います。

以上でやらまいか交流会参加の報告とします。

令和７年２月６日　柳　川　樹　一　郎

（様式11）

令和　7　年　2　月　5　日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18:00～20:10 |
| 出　張　先 | 東京都港区 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 太田　康隆 |

（出張の顛末）

・やらまいか大使に任命されたお笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本直毅さんと会った。浜松北高の出身で、芸能の世界へ入ったが、浜松を宣伝していくという力強い意志を確認した。

・元・企画部長の清田浩史氏は、現在総務省審議官として、公営企業を担当しているとの話であった。

・国交省道路局の高速道路経営管理室長の長谷川信栄氏と会い、浜松の存在を強くアピールしておいた。

（備考）

浜松やらまいか交流会　報告書

令和７年２月５日
渥美　誠

◆日時　　令和７年２月４日（火）
◆会場　　ANAインターコンチネンタルホテル東京
◆内容　　第１部　　市政報告会
　　第２部　　懇親会

第１部　　市政報告会

【概要】

第１部は、中野祐介市長が、各界からの参加者への感謝及び今回、交流会２月開催に至る経緯と理解を求め、本市最近の状況を伝える。最初に、１昨年、徳川家康公が１７年間過ごした当地も舞台となった大河ドラマ「どうする家康」が、本市来訪者の盛況効果に繋がった。また、去年、浜名湖花博２０２４では、１００万人の皆様を迎え、秋には、浜松開催の全国茶品評会では、農林水産大臣賞、産地賞を獲得した。更に、６年ぶりの開催となった浜松国際ピアノコンクールでは、５２回目にして日本人女性ピアニストが優勝した。次に、人口減少傾向にあるが、餃子の街、健康寿命日本一、良好な交通アクセス、寛容な風土市民性、フィリピン、インド等海外人材交流及び協定締結、スタートアップから世界企業、若者転出超過等を掲げ、まち、ひと、しごと創生を一体的に進める６つの柱からなる新しい１０年計画を４月から展開する。

第２部　　懇親会

【概要】

第２部は、衆参国会議員、静岡県知事、静岡県議会議員、浜松市議会議員、浜松やらまいか大使、省庁・企業関係者等、浜松サポータークラブ会員が参加、開会後、中野市長挨拶、来賓紹介、浜松市やらまいか大使紹介、鏡開き・乾杯と続く。浜松市やらまいか大使紹介では、令和６年度新任大使を紹介した上で、その中の一人、お笑いコンビ「ラブレターズ」塚本直毅氏が自己紹介、PRを行い、その後、中野市長が塚本氏を委嘱する。懇親会場では、入り口から正面の両サイドに、市の９ブース、企業の８ブースを合わせた１７ブースを配置し、市職員、企業・団体関係者が、浜松をPRする。また、「浜松のお茶コーナー」、「峯野牛の鉄板焼き」が会場を盛り上げる。各ブースでは、シティプロモーションのPR、地域資源の活用、やらまいかブランドの創生、食の文化、中山間地域の魅力発見、民俗芸能・歴史的風致等、本市の様々な魅力を発信する。

【総括所感】

今回の交流会は、２部構成ではあるが、やらまいか大使が、どのような活動をしているのか等の発言や自身の意見等を伝える場面を、交流会全体の中で設けてはと思う。やらまいか大使１１６人＋１組が発信するそのパワーに接することは、大変大きな意義がある。また、天竜区役所区振興課及び市民協働・地域政策課ブースでは、「勝坂神楽」継承を支える「ＮＰＯ法人わたぼうしグランドデザイン」[redacted]氏と出会い、改めて、伝統芸能の素晴らしさ、継承の重要性を共有、今後の取組を確認した。

（様式11）

令和　7　年　2　月　5　日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 高林　修 |

（出張の顛末）

やらまいか交流会に出席し、在京の浜松出身者との交流を深めた。

第１部は中野市長による市政報告が行われ、特に少子化、人口減少の現況と対策について話され、「しごと、ひと、まち」の相互連携が地方創生２.０につながるとの講演でした。当然浜松市の日本一にも触れ、餃子消費量も連覇だろうと宣われた。

第２部は、市長挨拶、来賓紹介、新やらまいか大使の「ラブレターズ」さんお紹介、鏡開き・乾杯で始まり懇親会へと移った。うなぎいも協同組合、春華堂、ヤタローグループ、花の舞酒造、各市の所管課など17のブースが開かれた。多くの省庁、企業関係者の皆さん、浜松サポーターズクラブ会員の皆さん全員はとても無理としても交歓できた。例えば、高校の同級生や先輩の[redacted]日本航空の会長、静岡新聞社の[redacted]東京支社長、シンガーソングライター[redacted]さんなどとお話できた。ちなみに浜松市議会議員は２８名の出席であった。以上

（備考）

（様式11）

令和　7　年　2　月　5　日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日　(水)　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 戸田　誠 |

（出張の顛末）

株式会社フェニックスの[redacted]さんと[redacted]さんと好調な三遠ネオフェニックスの活動についてお伺いしながら、浜松が推進する「スポーツするなら日本のド真ん中浜松・浜名湖」に協力して頂くように話をさせて頂いた。小学生や中学生にバスケットボールの魅力を知ってもらうための地域活動をしていることを聞き、中学生の部活動への協力やスポーツの魅力を今後も若者に伝えて欲しいとお願いした。また、浜松が今後展開する見るスポーツの施設改修にともないプロの活動しやすい場所の提供ができるのでより多く浜松で試合を開催して欲しいとのお願いも併せてお願いした。

市のウェルネス推進のブースでは野菜接種のベジメータ測定会が行い浜松の健幸を推進するPRしていたので測定をして「頑張ってます」の結果でした。野菜を接種することに気を使っている証明ができて良かったと思ったともに健幸にきをつかっている市をPRできていると感じました。

その他、ヤタローさんの非常食ブースやローランドさんの特殊プリンターなど、浜松の企業が持つ力を拝見でき、浜松は魅力ある地域であることをPR出来ると確信できました。

（備考）

令和 7年 2月 5日提出

会派名　自由民主党浜松
代表者　倉田 清一 様

# 報 告 書

| | |
|---|---|
| 出 張 年 月 日 | 令和 7年 2月 4日 |
| 出 張 先 | 東京都港区赤坂 ANAインターコンチネンタルホテル東京 |
| 出 張 理 由 | 「浜松やらまい交流会 2024」参加者との意見交換 |
| 出 張 者<br>氏 名 印 | 倉田 清一 |

(出張の顛末)

2月4日(火)18時30分から、ANAインターコンチネンタルホテル東京において開催された「浜松やらまいか交流会2024」に参加して、参加者と意見交換を行った。

【第1部】18:00～18:30:中野市長から、パワーポイントを使っての市政報告。
「まち・ひと・しごと」の創生

【第2部】17:00～:参加者との交流会
今年度、新たに任命された「やらまいか大使」は5名でした。
当日、参加されたのは、お笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本直樹で、平成17年から創設されたこの制度は総勢116名、1組になった。
会場内には、食材をご提供いただいている業者・団体等のブースが並び、賑わっていた。
各ブースの方々と名刺交換を行いながら、課題等の意見交換を行った。
土木部のブースでは、後輩たちが本市の道路事業の取組み等を熱心に対応しており、頼もしく、嬉しく感じた。

【所感】
新任の「やらまいか大使」が1名しか参加していただけず残念でした。また、既「やらまいか大使」が出席しているにも関わらず、その照会が無いことも残念であった。
これでは今後出席してくなくなることが心配である。そうならないように、しっかりフォローして貰いたい。
今年は、うなぎをはじめ食材が豊富で、食材に舌鼓を打ちながら多くの皆様と交流することができ、有意義な交流会となった。
親善大使の皆様、並びに首都圏で活躍されている皆様の益々のご発展とご活躍を祈念する。

令和７年２月５日提出

会派名　　自由民主党浜松
代表者　　倉田清一　様

# 報告書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和７年２月４日 |
| 出張先 | 東京都港区 |
| 出張の理由 | 浜松やらまいか交流会参加者との意見交換のため |
| 出張者<br>氏名 | 加茂　俊武 |

（出張の顛末）

２月４日(火)18時30分から、ANAインターコンチネンタルホテル東京において開催された、浜松やらまいか交流会に参加し、交流会のあり方や雰囲気について考えるとともに参加者と意見交換等を行った。

【浜松やらまいか交流会】

●ブース出展、料理について

市担当課のブースと民間企業ブースの２種類がある。毎年、出展頂いている民間企業の方々は、浜松市の為に、様々な尽力を頂いていることが、よく理解できた。特に、本年は、プロスポーツチームのブースが増えており、大変、華やかな雰囲気であった。今後のスポーツコミッションにより一層、期待するところである。

東京事務所としては、業者の選択については、どの業種の業者を、どこまで声をかけて呼ぶのか悩ましい面もあり、今後の課題である。

料理については、バイキング形式であるが、例年に比べ、混雑なくチョイスでき、量的にも満足のいくものであった。しかし、逆をとらえると、参加者が例年より少なかったのではとも感じた。また、浜松パワーフードのPRを加えることができないか検討すべきであると感じた。

●やらまいか大使について

新たに任命されたラブレターズの塚本さんと会話をした。大変、喜んで頂いてありがたいことである。今後の活動に期待をしたい。

課題として、登壇した全員を紹介する機会を設けるべきだと強く感じた。せっかく来場頂いたのだから、来場者の皆さんに、より知ってもらうチャンスではないか。時間制限もあるだろうが、一考が必要である。

●参加者との意見交換

・HAYATE

次男の高校の先輩が３名在籍しており、活躍を期待するところであり、話題の中で取り上げさせて頂いた。本年は８月に浜松球場にて試合を行うとのことで、盛り上がりに期待したい。浜松の野球人口は少年団や中学校の部活をみると減少傾向にあると感じるが、身近なプロ野球球団が地域にあることは、する野球みる野球のより一層の活性化につながると感じた。

・サツ川製作所

様々なノベルティグッズを作成し、浜松を盛り上げるつもりであるとのこと。今回も、利益目的でなく浜松の PR の為にボランティア精神で頑張るということで、大変ありがたいことである。

・三遠フェニックス

豊橋アリーナの件は大変心配をしているとのこと。浜松アリーナが大規模改修を控えており、ホームとして検討頂くようお願いをした。

フェニックスは地域に根差した活動をしており、依頼があれば三遠地域のどこへでも伺うとのことで、地域振興や子ども達の夢を創造する取り組みに大変感銘をうけた。身近なプロスポーツ団体は大変、有意義で貴重な存在である。

# 東京都（やらまいか交流会２０２４）視察報告書

令和７年２月７日
松本　康夫

視察日程　令和７年２月４日（水）
視察地　東京都　ANA インターコンチネンタルホテル東京
視察目的　東京都（やらまいか交流会２０２４）参加者との意見交換等

【概要と所感】
市政報告会では、中野市長が任期の折り返し地点に立った現時点での思いや、これまでの実績や取り組みについて丁寧に語られた。これまでの歩みを振り返りながら、地域課題に真摯に向き合ってきた姿勢と市政への真剣な向き合い方が伝わったと感じる。また人口減少や高齢化、地域経済の活性化など、浜松市が直面する課題は多岐にわたるが、だからこそ市民一人ひとりが「浜松の未来」に自ら関わっているという実感を持てるような、市政の見える化と参加の仕組みが求められている。今回の報告会をきっかけとして、市長が掲げる理念や目指す都市像について、さらに市民と共有し、具体的な施策としてどう展開していくのか、今後の説明や対話の機会を通じて、浜松の持つ豊かな資源や人材を生かしながら、共に未来を築いていく姿勢が今後の市政運営においてさらに明確に示されることを、強く期待している。

第２部では、やらまいか大使として新たに就任した塚本直毅氏らの紹介があり、浜松市を多角的に PR する意気込みが伝わってきた。特に塚本氏のように全国的に活躍する人物が浜松をアピールすることで、若い世代にも良い影響を与えるだろう。ERIKO 氏や池野文昭氏のような多様な分野の大使の参加も、浜松の魅力を幅広く伝える上で大きな力になると期待できる。展示ブースでの交流も盛んで、地域と市民、外部とのつながりの大切さを改めて実感した。

（様式11）

令和　7　年　2　月　5　日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区・ANAインターコンチネンタルホテル東京 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 平野　岳子 |

（出張の顛末）

「やらまいか」は、「やってみよう」「やってやろうじゃないか」を意味し、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表す、浜松市を象徴する言葉。

本市の情報発信及び首都圏における浜松ゆかりの方々の交流を目的とする「浜松やらまいか交流会」が今年も東京で開催され、参加した。

◆第1部は、中野市長から市政報告会。興味をもってメモしている人、スクリーンを撮影する人が多く、浜松市の現状と課題に多くの方が耳を傾けた。

◆第2部では、浜松にゆかりのある方々との交流会。

今年度新たに選任された「やらまいか大使」は5名。当日参加された、お笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本直毅さんが紹介された。平成17年から開始したこの制度は総勢116名1組となったようだ。各分野で活躍され、全国的な知名度や実績等を有する浜松市にゆかりのある方々であるが、当日参加頂いた方をステージ上でお名前だけでも紹介すべきと感じた。また、ステージ上のスクリーンにて紹介映像を流す等、「やらまいか大使」の方々にもう少し配慮すべきではないかと思った。昨今の大使の参加人数が減少気味ではないかと課題を感じる点からも、改善点が必要と感じる。

会場内では、ブース紹介も興味深く、浜松の食材に舌鼓を打ちながら多くの方々と名刺交換をして交流をした。私自身も、さらに本市の魅力発信と発展の為に尽力することをお誓いすると共に、親善大使の方々の一層のご活躍、本市へのご貢献をお祈りしたい。

（備考）

提出日　2024.2.7

自由民主党浜松

会長　倉田清一　様

自由民主党浜松　齋藤和志

# 出張報告書

■出張日時　2025.2.4(火)　18:00～20:00

■出 張 先　東京都港区 ANA インターコンチネンタルホテル東京

■内　　容　浜松やらまいか交流会参加者との意見交換会等

■出超顛末

第１部　市政報告会　中野市長報告

※パワーポイントにより、本市の概要紹介・本市の課題・地方再生取り組みの必要性等を報告

第２部　懇親会

・開会

・市長挨拶

・来賓紹介

・浜松市やらまいか大使紹介

令和６年度新任大使　塚本直毅　氏 挨拶

（お笑いコンビ「ラブレターズ」）

・鏡開き・乾杯

・閉会

■所　　感

✓ 恒例となった、浜松ゆかりの方々との交流と本市の食・観光・産業・自然等の魅力を発信することを目的として開催され、この催しをバックアップするとともに、出展者や交流会参加者の意見や感想を聴取した。出展者からは、「浜松市をもっと元気に、そして全国のみならず海外にも積極的に浜松市を発信していただきたい」、そして参加者からは「立地の良さ・音楽の街・自然環境に恵まれた街・ものづくりの街等の魅力に溢れているが知名度は低く、もっと個性ある街づくりが必要」との意見が多々あった。

➢ これらの意見を聞く限り、自治体や民間企業、住民といった地域の主体者が産業振興策など特色のある施策の推進により、人口減少を抑止し、持続可能な社会の形成を目指す政策または一連の取り組みを行うべく、本市の魅力・個性をどのように導き出す政策を、他都市の模倣ではなく独自色を出す施策の展開が必要である。また、本交流会の時間と時間帯であるが、時間が詰まっているとともに、時間帯を若干早くしてゆとりをもって開催すべではないか。そして、毎年同じような内容ではなく、何か浜松の魅力を前面に出す企画が必要ではないかと感じた。そして、このイベントをもっと発信すべきではないか、とも感じた。

令和７年２月 10 日提出

会派名　　自由民主党浜松
代表者　　倉田清一　様

# 報 告 書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和７年２月４日 |
| 出 張 先 | 東京都港区赤坂１丁目 12-33 |
| 出張の理由 | 浜松やらまいか交流会出席のため |
| 出 張 者<br>氏 名 印 | 井田博康 |

（出張の顛末）

２月４日(火)18 時から、ANA インターコンチネンタルホテル東京において開催された。第１部、中野市長による市政報告会・第２部浜松やらまいか交流会懇親会が開催され、参加者・ブース出展者と意見交換等を行った。主なやり取りは下記の通りである。

【市政報告会】

参加者に対し中野市長から詳細な施策の説明よりも現在の浜松市の状況とこれからの取り組みについての報告がありました。

中野市長が危機感を持っていることは人口減少であるとし、しごと・ひと・まちの一体的・総合的な創生を図ることが重要とした。「しごと」に関しては産業人材の確保、働く場の創出、稼ぐ力の強化、特に「都心に出た人たちが浜松に戻っても仕事がない」という状況を無くすことが重要であるとしていた。「ひと」に関しては出会いから子育て、健康長寿まで切れ目のない支援を掲げ、「まち」に関しては観光、食、文化、スポーツなど、にぎわい・魅力あるまちづくりを掲げ、人口減少からの脱却・転換を図ることを表明した。簡単ではないとは思うが、実現に向け共に頑張っていきたいと感じた。

【やらまいか交流会】

交流会では、令和６年やらまいか大使にお笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本直毅氏をはじめ、荻野明彦氏、涼宮あつき氏、竹内由恵氏、山口聡氏の５名が委嘱された。

省庁・企業関係者の皆さんや、PR ブースでは、プレス浜松の代表理事の[redacted]他と今期、成績好調のチームの今後の展開やスケジュールについて話をさせて頂きました。

大変有意義な時間が過ごせました。やらまいか大使の方々の活躍を期待します。

（様式11）

令和　7　年　2　月　6日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区　ANAインターコンチネンタルホテル東京 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 露木　里江子 |

第1部では中野市長による市政報告会が行われた。現状、課題から、市長が任期の半期を折り返す今、具体的に方針を強く語る必要があったのではないかと感じた。全国、またはグローバルに活躍する皆さんに発するメッセージとしては弱かったと思う。

第2部の交流会では、新任の「やらまいか大使」のお笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本直毅氏の紹介がされた。歴代の「やらまいか大使」も多くお見えになった。壇上には上がったが、お名前だけでも紹介するべきではないかと感じた。

会場では、活発な交流が行われていた。

会場内には、浜松市の道路企画課、ウエルネス、天竜区など展示ブースで説明がされていて、多くの方が耳を傾けていた。

参加者との主なやり取りは次の通り

・新任やらまいか大使　塚本直毅氏　　2024年キングオブコント優勝者である塚本氏は、放送作家としても活動されており、浜松のPRをしていかなくてはとおっしゃっていた。

・やらまいか大使　ERIKO氏　様々な音楽活動を通して、また来年の大河ドラマで中村家も再度注目されることになるといいとおしゃっていた。ERIKO氏は、様々なイベントにも参加し、都心と浜松を多く移動しているためゆっくりとご意見を伺ってみたい。

・やらまいか大使　池野文昭氏　アメリカから見た浜松について、視野を広げるべき。

（備考）

（様式11）

| | |
|---|---|
| 令和　7　年　2　月　6　日提出 | |
| （あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松<br>代表者　会長　倉田　清一　様 | |
| 報　告　書 | |
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日　(水)　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区 1-12-33 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 神間都子 |

（様式 11）

（出張の顛末）
２月４日（水）１８時からANAインターコンチネンタルホテル東京おいて開催された浜松やらまいか交流会において、参加者と意見交換等を行った。主なやりとりは以下のとおりである。
【浜松やらまいか交流会】
◆川崎市総務企画局東京事務所長　中岡祐一氏
令和４年に政令指定都市移行５０年を迎えた、人口１５４万人を超える人口を有する。勢いのある川崎市。特別市（特別自治市）制度について、意見交換した。行政視察の受け入れなどについても、有意義な情報交換ができた。
◆浜名湖社中株式会社 [redacted]氏
浜松市広域アドバイザーでもある[redacted]氏。三遠南信の今後の連携推進について、情報交換ができた。
◆静岡県人会理事長 [redacted]氏、[redacted]
人口減少の本市にとって、関係人口の要となる県人会の存在は大きい。ふじのくに観光公使でもある[redacted]氏とは、静岡県のまた本市の情報の発信とキャッチによって、引き続きご尽力いただくよう、意見交換ができた。
◆ホンダFCブースにて　鈴鹿製作所主幹 [redacted]氏、ホンダFC副部長[redacted]氏
地元のサッカーチームホンダFCには、地域貢献に力を入れてもらっており、今後も地域の祭りや自治会行事への積極的参加をお願いできた。スポーツを通したまちづくりへの有意義な意見交換ができた。

（様式11）

令和　7　年　2　月　5　日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 中野　和幸 |

（出張の顛末）

市出身者や政治、経済、文化、芸術などの各分野で活躍する人が参加されていた。
まず、中野市長から「浜松から地方創生　～浜松市の取り組み」との浜松市の現状等の話を聞き、その後の交流会では、新任のやらまいか大使のお笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本直毅さんの紹介がされた。

浜松市の出身者のたくさんの方々とお会いできた。
地元の若い人たちも東京で活躍されていて、小さな頃から知っているので成長された姿を見て驚いた。

皆さんと協力をして、浜松をもっと盛り上げていきたい。
そして、浜松市に戻ってきたいと思うような浜松市にしていかないといけないと思った。

（備考）

（様式11）

令和　7　年　2　月　6　日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 辻村　公子 |

（出張の顛末）

首都圏で活躍する浜松ゆかりの方が集まる意見交流の場は、大変貴重であり、また久しぶりに浜松の食文化も味わっていただけたことで、故郷の良さを改めて感じていただけた『やらまいか交流会』となったのではないでしょうか。

まず第一部の中野市長からの市政報告では、市長の掲げる、まち・ひと・しごとの３本柱がはままつからの地方創生であると同時に、浜松の人口減少、特に若者、女性の流出の現状が大きな課題でもあります。この課題については市議会としてもしっかりと取り組まなければなりません。

第二部では、新　やらまいか大使の塚本さんの紹介、省庁、企業関係者、浜松サポータークラブの会員との意見交換、また企業　市のブースが会場１か所に集結することで、短時間で多くの情報や、体験をすることができ有意義な時間でした。各ブースのＰＲは多くの人たちに浜松の魅力発信のよい機会になりました。『やらまいか交流会』を開催したことにより、さらなる浜松の活性化、本市からの若者離れが少しでも緩やかな方向に向かうことを期待します。

（備考）

令和　7年　2月　6日提出

（あて先）　会派名　　自由民主党浜松
　　代表者　　倉田清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7年　2月　4日 |
| 出　張　先 | 東京都港区赤坂1-12-33　ＡＮＡインターコンチネンタルホテル東京 |
| 出張の理由 | 浜松やらまいか交流会参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 藤田　典良 [redacted] |

（出張の顛末）

２月４日　午後１８時から、ANAインターコンチネンタルホテル東京において開催された、浜松やらまいか交流会において、参加者と意見交換等を行った。主なやりとりは下記のとおり

【浜松やらまいか交流会】

◆運営方法等の確認（東京事務所長からの説明及び現地確認）

・ＰＲブースについて、蜂野牛やうなぎをはじめとする浜松の特産品を展示、提供することで、参加者へ効果的なプロモーションができていると感じた。

・リポーターを含むカメラクルーが会場内をインタビューして回りながら、その映像がプロジェクタで映し出されたことで、会場内に臨場感と一体感が生まれた。

◆参加者からの意見聴取等

・やらまいか大使　　塚本直毅　氏

キングオブコントで優勝された、お笑いコンビ「ラブレターズ」の塚本氏から、本市の観光をテレビなどのメディアを活用し県内外への発信を積極的に取り入れることについての意見をいただいた。

・総務省（消防庁）福山和季　氏

浜松市消防局から消防庁へ出向している、地元消防局員との情報交換を行った。

災害有事の避難場所整備や防災備蓄品、消防車両の更新整備などについて、現場の状況を周知している方の目線で、浜松市に活かせるように見識を高めていきたいと考えている。

【所感】
・交流会参加者からは本市政策等に対する要望や貴重な意見を数多く聴くことができ、有意義な会でり来年度以降も継続して参加していきたいと考えている。
・浜松市民会（大学の県人会）のようなものが組織され、露出が増えてくると良いかと思う。仕掛けが必要。
・教育に関わる案件については、いただいた意見を当局に伝え、早急に対応できるよう要請していきたい。

（備考）

令和７年２月５日提出

（あて先）　会派名　　自由民主党浜松
　　代表者　　倉田　清一

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和７年２月４日 |
| 出　張　先 | 東京都港区赤坂１丁目１２－３３<br>ANA インターコンチネンタルホテル東京 |
| 出張の理由 | 浜松やらまいか交流会参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 鈴木　裕之 [redacted] |

（出張の顛末）

２月４日（火）午後６時３０分から開催された、浜松やらまいか交流会において、参加者と意見交換等を行った。主なやりとりは下記のとおり。

**◆運営方法等の確認**（東京事務所長からの説明及び現地確認）

・ＰＲブースについて、本市企業や所管部等の内容等が参加者に分かりやすくアピールできており、参加者へ効果的なプロモーションができていると感じた。

**◆参加者からの意見聴取等**

**・株式会社ヤタロー　執行役員　YI 事業部兼海外・教育・企画推進室[redacted]氏**

ヤタローの海外戦略及び海外人材の登用等について意見交換をさせていただいた。

**・国道交通省　道路局総務課　高速道路経営管理室長　長谷川信栄 氏**

長谷川氏の現在の所管や国土交通政策等について意見交換をさせていただいた。

**・経済産業省　商務・サービスグループ　ヘルスケア産業課長　橋本泰輔 氏**

昨今のヘルスケア産業政策等について意見交換をさせていただいた。

◆その他、意見交換した方々

・地方公共団体金融機構 [redacted]氏
・経済産業省　商務・サービスグループ　ヘルスケア産業課　係長　忠内美保 氏
・経済産業省　商務・サービスグループ　ヘルスケア産業課　係長　金子恭大 氏
・株式会社ヤタロー　YI 事業部 [redacted] 氏

【所感】浜松やらまいか交流会の運営等については、各ブースともに浜松を PR するための施設や商品などをアピールできており、非常に効果的であると感じた。また、国の機関の各所で活躍されている方や企業の方々の動向等について一度に意見交換させていただくのは非常に有意義であり、こういった関係性が持てる場は来年以降も継続していくことが重要である。参加者から、本市政策等に対する要望や貴重な意見も数多く聴くことができた。来年度以降も継続して参加していきたい。

（様式11）

令和　7　年　2月　7日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　　会長　倉田　清一　様

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7　年　2　月　4　日（水）　18：00～20：10 |
| 出　張　先 | 東京都港区赤坂 |
| 出張の理由 | 『浜松やらまいか交流会 2024』参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 花井和夫 |

（出張の顛末）

やらまいか交流会２０２４交流会が東京・赤坂のANAインターコンチネンタルホテルで開催され出席した。東京首都圏での浜松の情報発信と交流を目的としており、交流会に先立ち、中野浜松市長の市政報告会が開催され浜松の紹介や地方創生など浜松市の取り組みについて講演が行われた。交流会では、市長の挨拶の後、出席の「浜松市やらまいか大使」が壇上に上がり、新しく大使に就任したキングオブコント２０２４で優勝したお笑いコンビの「ラブレターズ」塚本直毅さん(浜松市の出身)に委嘱状の贈呈があり、挨拶があった。浜松の地酒「花の舞」で鏡割り、浜松商工会議所の[redacted]の音頭で乾杯が行われた。うなぎや餃子にみかん・・・と浜松の誇る食材による美味しいものが沢山！地元企業等のPRのブースもあり浜松を知ってもらう良い機会となった。浜松日体高校出身でTVでもお馴染みの流通アナリストとして活躍しているやらまいか大使の渡辺広明氏、２年前に就任した東京と浜松で活躍の邦楽囃子指導者の福原鶴十郎氏とも久し振りにお会いすることができた。家康公に付いて浜松から江戸に出て日本橋で版元を開設し今日まで続いている「伊場仙」の[redacted]さんも参加されていましたが、探すもお会いできず残念であった。東京など関東地域在住の浜松にご縁のある方が一堂に会し交流する貴重な機会であり、関係人口を繋ぎとめるとともに増やす機会でもあり、新たな交流に発展する機会ともなっている。

（備考）

（様式10）

令和　7年　2月20日提出

（あて先）　会派名　　自由民主党浜松
代表者　　倉田　清一

# 報　告　書

| | |
|---|---|
| 出張年月日 | 令和　7年　2月　4日　～　令和　7年　2月　4日 |
| 出　張　先 | 東京都港区赤坂　ANAインターコンチネンタルホテル |
| 出張の理由 | 浜松やらまいか交流会参加者との意見交換 |
| 出　張　者<br>氏　名　印 | 小野田 康弘<br>（署名又は記名押印をしてください。） |

（出張の顛末）

2月4日　午後6時30分から、ANAインターコンチネンタルホテル東京において開催された、やらまいか交流会2024において、参加者と意見交換等をおこなった。主なやり取りは、下記のとおり報告します。

【浜松やらまいか交流会2024】

○参加者からの意見聴取等

・やらまいか大使　池野　文昭 氏

スタンフォード大学の研究員として、医療機器ベンチャーの研究開発などに携わり、日本とアメリカを行き来している。小中学校の先輩でもある。

・やらまいか大使　なな茶 氏

インフルエンサーとして、浜松と東京を往復し浜松の魅力発信について伺った。

・やらまいか大使　ラブレターズ 塚本　直樹 氏

やらまいか大使に任命された心境を伺った。

（様式10）

【所感】

・池野さんは、小中学校の先輩で同じ剣道部に所属していた。普段は、アメリカと日本を行き来し、精力的に活動をしている。今回、池野さんはドバイから日本へ帰国し、やらまいか交流会に参加されていた。以前、出身中学校にて講演をしていただいた時があり、当時浜松の魅力を中学生に発信していたことが印象的であった。今回も久しぶりにお会いして話をしましたが、いつも浜松の事を考え、行く先々で浜松の事を言っているとおっしゃっていました。やはり、外から浜松を見ているので、色々なことに気付いていると感じました。

・なな茶さんは、以前から何度かお会いしていましたが、今回、新たにプロデュースしたインフルエンサー事務所について伺いました。インフルエンサーとして情報収集や、事務所を立ち上げた思いなどを聴き、顧客からどのように要望を吸い上げビジネスとして情報発信の大変さ感じた。色んな事にチェレンジしている感心した。

・ラブレターズの塚本さんは、今回やらまいか大使に任命され、親が一番喜んでくれたと嬉しそうに話していたのが印象的であった。お笑い芸人だけでなく、コント作家もやられているようで、多彩な才能の持ち主であると感じた。是非、お笑いを通して浜松の魅力を発信して頂きたい。

・今回は、大勢の参加者があったと思われる。コロナ以前に行っていたと思うが、浜松出身の大学生の参加もあればよかったと思う。浜松に戻ってもらう為にもこのような会の活用に期待したい。

（備考）

A0301

# 領　収　証

令和 7年 3月 31日

自由民主党浜松　　様

[redacted]金85,140円也[redacted]

但し　　ワークショップの準備代金として

上記正に領収いたしました

| 内訳 | |
|---|---|
| 税抜金額 | ¥77,400 |
| 消費税(10%) | ¥7,740 |

株式会社
アクト建設
AKT CONSTRUCT
代表取締役 倉橋 [redacted]
〒432-8061
静岡県浜松市中央区入野町4972-7
TEL:(053)445-4350 FAX:(053)445-4352
URL:http://akuto.co.jp/
適格請求書発行事業者登録番号：T1080401000144



調査研究費

# 請求書

令和7年3月31日

自由民主党浜松　　様

**請求金額　¥85,140※**

株式会社
アクト建設
AKT CONSTRU

〒432-8061
静岡県浜松市中央区入野町4972-7
TEL:(053)445-4350　FAX:(053)445-4352
URL:http://akuto.co.jp/

以下の内容にて御請求申し上げます。

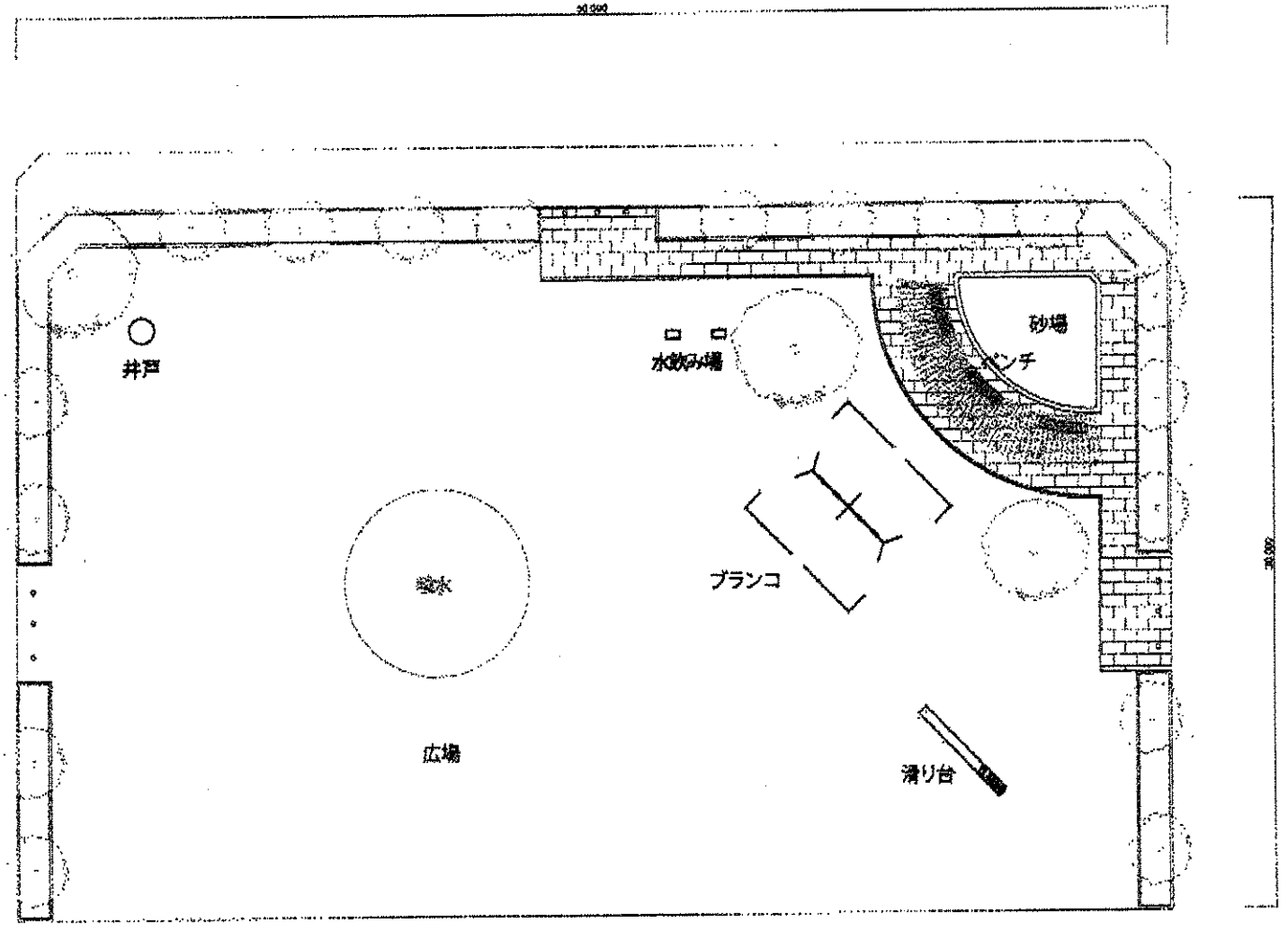
| 摘　　要 | | 税抜金額 | 消費税(10%) | 税込金額 |
|---|---|---|---|---|
| ワークショップの準備 | 契約金額　(A) | 77,400 | 7,740 | 85,140 |
| | 追加増減額(B) | | | |
| | 合計金額(A+B) | | | 85,140 |
| | 入金済金額(C) | | | |
| | 差額 (A+B-C) | | | 85,140 |
| 今回請求内訳: | 工事代金として | | | 85,140 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | ご　請　求　金　額 | | | **85,140** |

取引銀行　浜松磐田信用金庫　本店営業部　普通預金　№0604415
静岡銀行　浜松中央支店　普通預金　№0166977

適格請求書発行事業者登録番号
T1080401000144



参考イメージパース




アクト建設一級建築士事務所

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 公園計画 | 日付 | |
| 図名 | 平面図 | 縮尺 | A1 1/200 |

